

# 国分寺報

発行  
 真言宗国分寺派  
 大本山国分寺教学部  
 〒531-0064  
 大阪市北区国分寺  
 1-6-18  
 06-6351-5637  
 発行責任者 糟谷 眞教



## 御挨拶

### 法灯の護持に精進いたします



真言宗国分寺派 管長  
 大本山国分寺 座主  
 合田 和教

喜びと共に迎えた令和元年最初の国分寺会も沢山の参拝者の方々、本山末寺の寺院また教師の方々と相集い、無事に過ごせましたことを感謝申し上げます。国分寺も皆様方のお力添えにより平成から令和へと迎えることが出来ました。

この度、令和元年初めての事業として研修道場講堂の建立を發願し、予てより老朽化が進んでいた境内北側の建物を解体し、新しく建立に取り掛かります。護ってきた法灯もこの先に続けることに精進したいと思っております。年々続けている行事においてもお盆の施餓鬼会、地藏盆と、地域の方々の参加も増え子供たちが安全で安心して遊べる場、よりたくさんの方々の参拝者が集える場を目指し、国分寺の令和の時代も法灯の護持に精進いたします。皆様方の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。

# 国分寺会

## 読経響く荘厳な境内

宗務総長 糟谷眞教

令和最初を飾る国分寺会を去る5月19日に執り行いました。当日は薄曇りで例年より涼しく感じ、北海道の先生方にとっては毎年大汗をかいて出仕下さる姿を見ております由、有難い法要になったのではないかと思います。御出仕下さった末寺教師の方々には心より厚く御礼申し上げます。

2009年に先師縁故者追善法要として始めて10年、各末寺教師檀信徒の皆様を支えられ、また各々が研鑽を積み毎年が挑戦と続けて参りました。創建された1300年前から僧侶の研鑽の場であった国分寺、国分寺会の意義とはその修練の見せ場であります。本年のテーマは原点回帰と私は感じており、次第はシンプルですが先ず18日の前日習礼ではこの度の法要の会奉行を務められた北海道別格本山観照寺様の佐々木明教僧正から丁寧な説明があり、皆、身の引き締まる思いでありました。その後真言宗大本山中山寺様の村主康瑞名誉管長より大変有難い講演を頂き、締めくくりに熊本青龍山慈恩寺様の法要並びに昭和金堂外陣の暈を

この度の法要に合わせて御奉納頂き、その奉告法要並びに奉納式を執り行いました。嘗ての暈は既に30年は経過しており傷みが激しかったものを村山晃照住職を始め檀信徒の皆様御心で奉納頂き心より感謝申し上げます。さて国分寺会当日も午前中は習礼に始まり、各末寺檀信徒の皆様方が徐々に集まる中、本番を迎えました。法要次第に庭儀というのが御座います。まだ本堂に入る手前で職衆が整列し、讃頭という役の方がとても大きな声を張り上げるのですが、緊張の極みの中、本年は上津原壽晃師が務められ、その場を圧倒するような声量で参拝の方々も驚きと感動でいっぱいになられたと思います。

毎年配役も全て変更するので出仕下さる末寺教師の方々のドキドキが伝わり、良い緊張感の中、読経が響き渡る境内はこの上なく荘厳な空気に包まれます。これからも末永くこの法要が続いていくよう精進いたします。

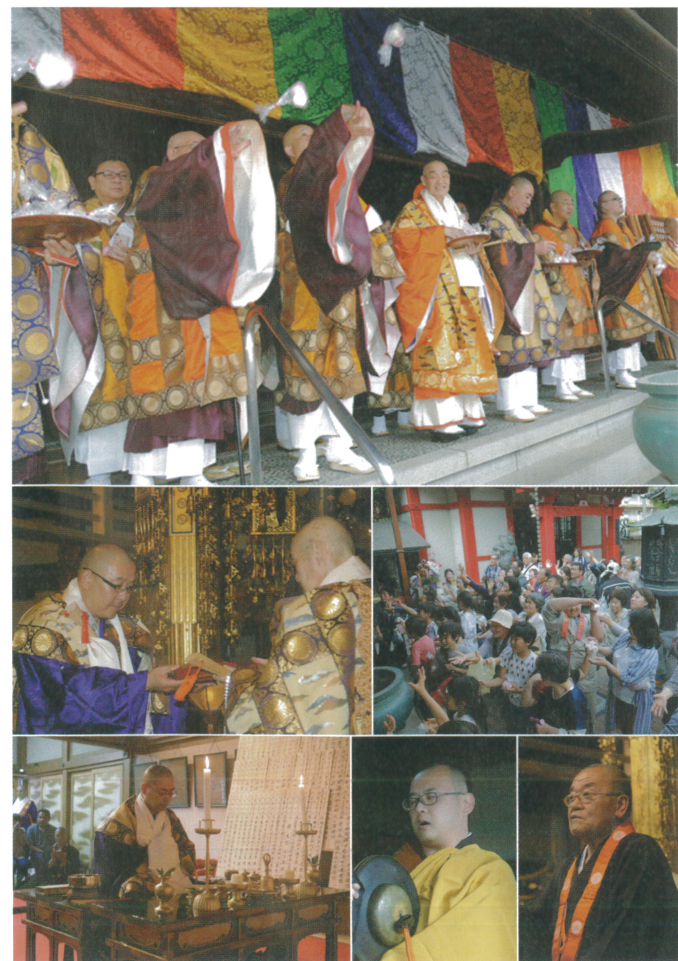
合掌

# 表白

敬つて真言教主大日如来  
両部界会諸尊聖衆  
殊には本尊薬師瑠璃光如来  
日光月光十二神将諸大眷属、  
別しては宗祖弘法大師と始め  
諸相大徳 総じては尽空法界  
一切三寶の境界に白して言さく  
恭しく惟れば 寂かに我が息づきの  
様に耳を澄ませば 遠き沖より  
打ち寄する生命の海の潮騒を  
聞くが如し、その生み継ぎの  
連なりははるか遠くのか  
祖先より我が身に継がれて今にあり

然れば此処に大本山国分寺の道場にて数多の浄侶を屈請じて一座の法筵を開き理趣般若の秘法を修し恒沙の神呪を唱え梵唄を奏し仏徳を讃す

仰ぎ願くば此の法会の功德を以て  
恣まに極楽浄土に往生し速に  
自他円満の真果を証得せんことを  
寺内安全 寺門安穩  
世界平和 宗門興隆  
乃至法界 平等利益  
令和元年五月十九日  
真言宗国分寺派 大本山国分寺  
護持法王 和教  
敬白



# 全てに優しさを感じ

## 修行終えて日々の暮らしへ

双葉 恵月



今日も空を見上げました。朝は青きに白い一筋の雲が流れ、夜は三日月が白く微笑んでいます。一日が終わり、眠りにつくまでの時間がとても穏やかな安らぎを与えてくれる気がします。人も町も草木も働いた人も又そうでない人も、誰もが眠りにつく平等なとき。身も心も休めて明日へのエネルギーが生まれてきます。だから疲れたら悩みすぎたら、とにかく寝ましょう。良きアイディアが浮かんだら、嫌なこと何処かへ消えていきます。特に昨日などは、夏祭りの太鼓の音が、トントコトントコ響き、子供たちの賑やかな声も昔を想わせ、懐かしくも幸せな寝しなのひとときでした。

私は国分寺の御供所の2階で寝起きし、修行のお許しの下、お世話になっております。ご縁を繋いで頂いてか

かさが故に、失敗や奈落の底に何度も落ちました。その度に再起の力を生んだのは、人様の差し伸べて下さる温かい手だったのです。家族や身内であったり、人や仲間、時に見知らぬ方の言動であったり、ひそやかに咲く花々や煌めく星々や風や草さえも傷ついた私を優しく包み癒してくれたのです。ありがたい事です。死なずに今を生きています。あんなに苦しく辛かった事も、笑っているとなつかり忘れてブラックホールの彼方です。人間の中に忘れる機能があつて本当に良かったと思います。物忘れも増えましたが気にしない事にしました。

反対に感じることは、敏感になつたかもしれない。涙もろくはなるし、暑さ寒さも堪えて身も加齢で余儀なき事の多さも。断トツは、「愛」です。口にするのは、気恥ずかしいですが愛を一番感じます。自然にまるで、砂糖が溶けて汲み込むように。世の中は、「金だ」と目くじらを立てた時もありました。泣きもしました。今も泣いた事は変わらず大変です

が、心の部屋が広くなつたというか、周りを見る余裕が出来たのでしょうか。それは愛という名の、人を大切に想う優しい心根を頂いたからです。修行においても先生方始め、お寺の色々な方に、心配やら、面倒の掛け通しの生徒ですが、私の為にすべてを注いで下さるのです。様々な場面で様々な形となつて私を一人前にとの一心で・・・これは愛ですよ。檀家の皆様の温かい励ましは、私の背中を押して下さり、最後まで頑張ろうという勇気をもたらしたのです。これも愛ですよ。私は多くの愛に支えられて、生きていくのを改めて知ることになつたのです。

合掌

|        |      |
|--------|------|
| 先 集会所  | 出堂   |
| 次、庭義   |      |
| 次、入堂   |      |
| 次、導師三禮 |      |
| 次、前讀   | 四智梵語 |
| 次、散華   | 初段   |
| 次、對揚   |      |
| 次、表白   |      |
| 次、理趣經  | 佛讚   |
| 次、後讀   | 藥師如来 |
| 次、諸真言  | 光明真言 |
|        | 大師宝号 |
| 次、唱名禮  |      |
| 次、廻向   |      |
| 次、退堂   |      |

# 「本当の自分」への回帰を

顧問会会長 中村 興司

今年も気が付けば半年以上が過ぎ、時間の早さにはいつも驚かれます。元号が平成から令和に変わり、大阪ではG20がありました。また、参院選挙やラグビーワールドカップ、消費税の増税など、さまざまな事が予定されており

す。その中でも今の時代はSNSが発達したことにより、同じ意見、同じ思考の人がバーチャルの中で集まるというよ

でもSNSによる「周りの声」に惑わされている人も沢山いるのではないのでしょうか。つまり、少数の意見、考え方に対し、話し合いで融合する事が難しい時代になって

いるように感じます。仏教では「中道」・「中庸」という言葉があります。それは、「両極端な意見に白黒を付けず、間を取り合って最善を見出す」という

下さいませ。薬師如来様に手を合わせると、心が落ち着き、少し安らぐのではないかと思います。

現在国分寺では更なる発展の為、昨年の台風の影響で壊れた講堂の再建を予定して

今後引き続き、皆さまのご支援ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

合掌



## 春の団体参拝

### 中山寺 宝塚歌劇 清荒神清澄寺へ

4月6日(土曜日)、恒例になりました琵琶山龍最寺との合同団体参拝が行われました。天気も良くお参り日和の一日が始まりました。先ず、参拝させて頂いたのは、大本

29年に落慶された五重塔のお話を拝聴し、皆様の好奇心は最高潮に盛り上がりました。その後真つ青に冴える五重塔を前に、先ほどのお話を思い返しながら参拝させて頂き



中山寺を後にした一行は、今回初の試み、《宝塚歌劇団》の鑑賞の為、宝塚大劇場へ。月組公演「夢現無双」宮本武蔵」を鑑賞。宝塚の世

宝塚を見たけど、また行きたくなかった」など興味のなかった方もご満悦でした。先ず何事も参加してみてもその事を知る大事さを改めて感じまし

最後に訪れたのは、清荒神清澄寺へ、「火の神、台所の神」荒神さんで有名で、皆様本堂前にて家内安全などを御祈願されておりました。また、富岡鉄斎の美術館別館もあり鉄斎の世界を興味深く鑑賞されている方もたくさんおられました。

貴重なお話や、普段と違った世界観に触れ、参加した皆様も色々な事を感じ取られた一日となりました。次回、秋の団体参拝は、令和元年11月3日(日曜日)、高野山参拝をいたします。令和初めての団体参拝となり奥の院のお大師様へ良き時代になるようお願いいたします。初めて参加される皆様も楽しめる内容になっております。また、今回は時間をゆつたりとっておりますのでゆっくり歩いて参拝できます。お誘いあわせの上ご参加頂きますよう、よろしくお願い致します。



良い材料で良い住まい

生コン・建築材料・工具資材全般・リフォーム・外柵・ブロック・各種工事施工

(株)マキタ特約店

有限会社 南建材社

〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目12番4号  
TEL 06-6351-5516 (代表)・4698  
FAX 06-6353-6439  
URL http://www.minamikenzai.co.jp

総本山・各寺院・講社御用達

土産物一式、各種念珠、仏具仏像、位牌、軸物、仏書経木、経木塔婆、各種守札、杓子、金剛流御詠歌法具、教典一式

佳珠数屋佳兵衛

たんげ

和歌山県高野山 電話高野(0736) 2159番  
振替 00960-8-68291 郵便番号 648-0211



仏壇  
仏具

翠光堂

淡路駅前店 〒533-0032  
大阪市東淀川区淡路4の9の12  
電話 06(6324)0801(代表)

家族葬専門葬儀社

山葬  
yamasou

- 1. 山葬はご家族の想いを大切にいたします。
- 2. 精一杯お手伝いさせていただきます。
- 3. ご家族・友人でおくる低価格の家族葬をご提案いたします。

〒590-0026 大阪府大阪市北区神山町10-13 KENTUCKY II 501  
TEL 06-6365-1771 FAX 06-6365-1772  
携帯 090-7487-6889 (山本)  
E-mail yamasoumail@gmail.com  
URL http://www.nisso-osaka.com

## 春彼岸会

ご先祖様に  
思い馳せ

3月21日(木曜日) 大本山 国分寺昭和金堂にて春彼岸会が行われました。

午前中よりたくさんの方々が参拝されました。卒塔婆を書く僧侶の前は、列を成しておりました。僧侶が皆様の大切なご先祖様の卒塔婆を心を込めて供養し、午後1時、国分寺職員による総廻向が行われ、申し込まれた卒塔婆を再度入念に供養させて頂きました。

普段顔見知りの職員を見つけては、ゆつくりとお話をされる方が多く楽しくゆったりとした時間も過ごし頂けたようでした。また、お汁粉の御接待もさせて頂き、先祖供養を終え甘いものを少し頂いた皆様のホッとした顔が印象的な日となりました。



## 寶蔵寺・南野霊園

私たちは  
感謝の気持ちをこめて  
安価なお墓を  
提案しています。

〒575-0022 四條畷市南野2557-1  
TEL 072-862-0594

納得価格で、誰もが満足のいく葬儀を提供します。

無理のない、充実した家族葬

創業明治十年 直葬から一般葬まで  
家族葬の川上葬祭

大阪市規格葬儀取扱指定店 厚生労働省認定 葬祭ディレクター技能審査1級葬祭ディレクター在籍  
本社：生野区桃谷1-10-10 キヤ店：北区天神橋6-1-1 天王寺店：天王寺区寺田町1-3-5

電話受付 24時間 (年中無休) 3,200円 0120-420-441

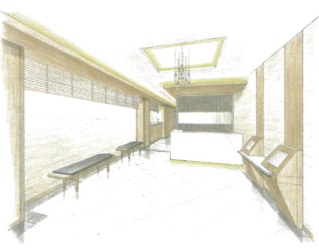
# 災害復興工事 講堂建立へ

この度、昨年大阪を襲った地震と台風によって大きく損傷を受けていた境内地北側の建物（国分寺会館、奥座敷他）を取り壊し、講堂を建立する運びとなりました。奥座敷は震災後、いち早く復興したところであり、築すでに70年程、会館も30年程経過し、傷みが激しくなっていたところに昨年の災禍でありました。

今後、約1年をかけ建築を行い来年夏ごろには竣工する予定で御座います。また室内には既に霊明殿の納骨施設がはいになりつつありますので、新たに納骨施設を設け、より多くの方々に集って頂けるような場所を目指します。



完成予想図（外観）



完成予想図（二階ロビー）



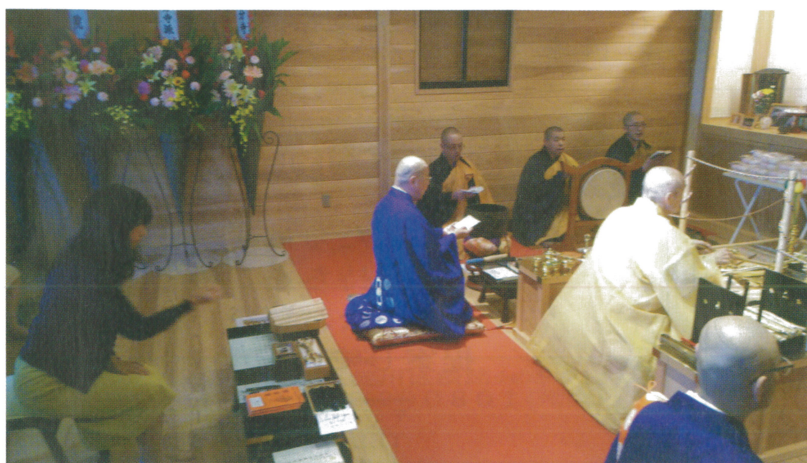
北東角よりのぞむ境内地（旧）

## 別院大祭



庭の木々、草花も徐々に育ち、本山から分けた銀杏も青々となつた本年も6月第4土曜日の22日に大祭があり、毎々別院近隣の感応院

門倉弘道師を始めに、遠くは東国寺仙台別院の永井瑞憲師まで御出仕頂き、合田和教管長猥下に御護摩修法のもと執り行いました。御出仕下さった皆様、そして檀信徒の皆様には心より厚く御礼申し上げます。



### 平成31年令和元年度 下半期行事予定

- 8月16日 施餓鬼供養
- 8月23日 地藏盆会
- 9月23日 秋彼岸会  
（百萬枚護摩供）
- 11月3日 秋の団体参拝
- 12月31日 正月会

**施餓鬼供養**・・お釈迦様の弟子、目連尊者が餓鬼道に堕ちている亡き母の事を知り衆僧に供養し、母をはじめ有縁無縁の三界萬靈に供養して、亡き母の苦しみを救ったことが孟蘭盆経に説かれています。わが国でも昔より続いている心温かい行事です。国分寺では、卒塔婆に戒名を写し御供養させて頂いております。

**地藏盆会**・・国分寺の地藏盆は子供たちの健康や諸願成就を祈願し、百万遍念珠廻し

や、かき氷、流しそうめんなど子供たちの笑顔が沢山あふれている行事です。

**秋彼岸会**・・国分寺では百萬枚護摩供（祈願）を行います。また、お彼岸の先祖供養も随時させて頂いております。

**秋の団体参拝**・・11月3日（日）高野山へお参りいたします。是非皆様お誘いあわせの上ご一緒に御大師様の元へお参りいたしましょう。

**正月会**・・新年初護摩を焚き平穏な年を過ごせるようご祈願させて頂いております。また、来寺された皆様に煩惱滅徐の鐘つきをして頂いております。

### 健太のひとりごと 10

今回、私は人との繋がりについて書かせていただきたいと思えます。昨年、国分寺中興三百年記念法要を終えてから、管長随行として対外的に出ることが増えて、様々な人と出会う機会が増えました。随行というのは、管長猥下の身の回りのお手伝いをさせていただくことが役割になります。私が、管長随行として五年間一緒に他のお寺の行事に

### 地藏盆

本山のある大阪では「お地藏さん」と親しみを込めてそ

参加させていただくことで、各本山の随行と顔を合やす機会が増えました。そこで各本山の随行さんにお寺の行事の話をお聞かせいただいたり、法要に参加させていただくなど、普段できない貴重な経験もさせて頂きました。私は今回の経験をさせて頂いたことで、人との繋がりと云うのは、ある日突然その機会がやってくるのだと実感し、逃すこともあれば繋がる時もあるのだと不思議に思いました。その機会を得ること

う呼んでいます。昔は街の角々にお地藏さんがお祭りしてあって、夏の終わりを感ず子供たちは長い夏休みの終わりと共に宿題に追われる、また地藏盆を通して町内の結束にも繋がっていったもので

国分寺にはいらつしやるお地藏さんはその昔

で、現在でも出会った方々と話をさせてもらう場をいただくことで私自身の経験になっていることは間違いありません。今回経験したことを生かし、これからも人との繋がりを大事にし、まだまだ私自身が知らない世界もたくさんあると思うので、自らその機会を逃すことなく国分寺の発展に繋がるように精進していきたいとおもいます。

合掌

それぞれの町内をお護りされていたのですが、時の流れと共にいつしか国分寺に集まつてこられました。そのお地藏さんの御縁日には皆集まって盆踊りや境内で遊び、賑わって子供たちの幸せや未来、無事を願うお祭りなのです。

- ☆8月23日
- 午後4時〜 お祭り
- （かき氷 そうめん流し スイカの振舞い他）
- 午後6時〜 法要
- 百万遍念珠廻し



### 平成30年度入宗者

- 澤田 恵鳳（北海道）
- 古賀 風晃（熊本県）
- 塩見 俊昌（京都府）

- 堀内 良慶（熊本県）
- （ ）は、師僧の現住所 入宗者順、敬省略

**国分寺 地藏盆まつり**  
8月23日 16時

そめん流し、かき氷、お菓子 百万念珠廻し...お待ちしております

昔ながらの地藏盆まつり  
お地藏さまは子供の健やかな成長を見守り、人々との出会いの場へとつなぎます...  
みんな遊びに来てね!

8月23日  
午後4時より お祭り  
午後6時から 法要  
本堂にて百万遍念珠廻し

大阪府北区国分寺一丁目六番十八号  
大本山 国分寺 TEL:06-6351-5637

# 過ぎ去った時代の 国分寺の面影

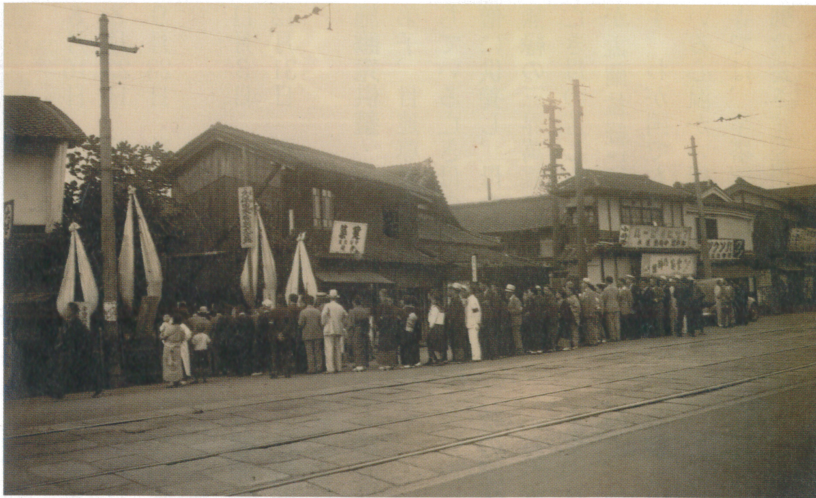
国分寺旧観 快圓律師中興  
の国分寺伽藍は昭和20年6月  
15日の空襲で中門を残し、全  
焼であったというのが言い伝え

なのですが、戦前の伽藍がど  
のような姿だったのか・・・  
残された写真と大正時代の実  
測図はあり、旧参道そして山

門がどのようであったのかは  
手掛かりもなく不明でした。  
しかしながらこの度西宮久保  
田家様宅よりその姿が写った  
写真が発見され、ここに紹介  
させていただきます。

2016年の夏号で紹介さ  
せていただいた現通用門の左  
右にある石柱（天王寺佐々木  
家寄進）が聞き伝えでは都島

通りに面していたとの事です  
が、それが写真によって裏付  
けされました。そして戦災焼  
失と伝わっていた山門も写っ  
ていたのですが、旧中門とさ  
れている現山門が戦災前には  
山門の位置にあったのではな  
いかという疑念が新たに生ま  
れました。これについては今  
後再考しなければなりません。



都島通りから撮影  
ひととき大きな櫓の立っているところが旧参道で  
そこに現在の通用門である石柱が立っています



通用門入ってすぐのところから旧山門を望む



旧山門より旧本堂（戦災焼失）を望む  
（すべて昭和15年撮影）

## 年末年始のご案内



毎年多くの方々に参拝いた  
だいております大晦日除夜の  
鐘・新春法要、本年も執り行  
います。来年はいよいよ20  
20年オリンピックの年であ  
り日本国中が賑わうのではな  
いでしょうか。そんな年初め  
に護摩祈願・おみくじ・お接  
待など国分寺に是非御参拝下  
さい。

## 編集後記

新しい元号を迎え、私は  
日々より丁寧にごそうと  
考えましたが皆様方の中  
にも決意を新たにと思ってい  
らっしゃる方も多いのではな  
いでしょうか。講堂建立と  
いう新たなプロジェクトも  
立ち上がりより丁寧に進め  
ていきます。皆様のご理解  
に感謝申し上げます。合掌